

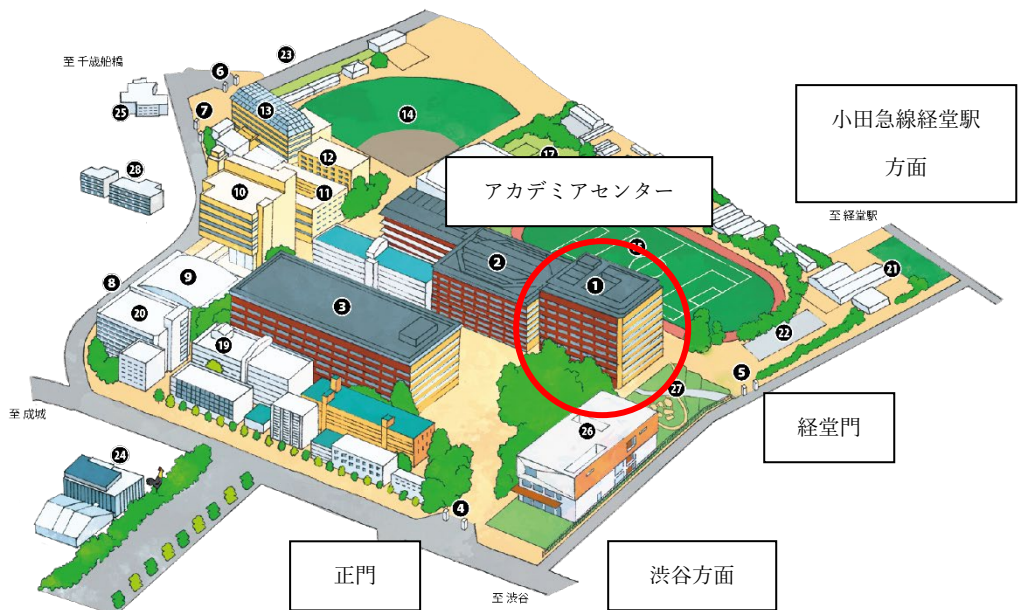
第 84 回日本農業教育学会大会大会
公開シンポジウム・総会・研究発表会

主催：日本農業教育学会

後援：東京農業大学

■ 期日 2026 年 9 月 12 日(土)～9 月 13 日(日)

■ 会場 東京農業大学 世田谷キャンパス アカデミアセンター地下 1 階 横井講堂
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1



■ 大会実行委員会

大会実行委員長：小池 安比古（東京農業大学 農学部農学科）

大会実行委員： 實野 雅太（東京農業大学 教職・学術情報課程）

玉木 陸斗（東京農業大学 農学部農学科）

町田 怜子（東京農業大学 地域環境科学部地域創成科学科）

川上 昭太郎（東京農業大学 地域環境科学部生産環境工学科）

齋藤 修平（東京農業大学 農学部デザイン農学科）

大会実行委員会連絡先：〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学

TEL 03-5477-2518

E-mail mj204347@nodai.ac.jp

實野 雅太

■ 日程（予定）

9月12日(土)

12：30～14：00 評議員会（国際センター2階 カンファレンスルーム2）

14：30～17：00 公開シンポジウム（農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂）

18：00～20：00 交流会（国際センターレストランスペース）

9月13日(日)

9：00～11：20 研究発表会1（農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂）

11：30～12：00 ポスター発表（農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂前広場）

13：00～14：00 総会（農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂）

14：10～16：40 研究発表会2（農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂）

※発表件数により、時間などが変更となる可能性があります。

■ 公開シンポジウム

<テーマ>農業教育の射程

<プログラム>

司会：小池安比古（東京農業大学農学部農学科）

コーディネーター：實野雅太（東京農業大教職・学術情報課程）

パネリスト：渡邊隆昌先生（筑波大学附属駒場中学校・高等学校）

「駒場水田における稲作学習の教育実践」

塩谷暁代先生（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

「小学校における総合的な学習の時間『コンポスト授業』—有機物循環プロジェクトの取り組み」

工藤光平先生（東京農業大学教職・学術情報課程）

「学校動物飼育の再考：肥後五鶏の継承が拓く共創の可能性」

総合討論

■ 参加申し込みについて

<申し込み方法>

具体的な申し込み方法は、学会の Web サイトに Forms を掲載し、6 月 15 日～8 月 14 日の期間で申し込み受付をする予定です。

学会の Web サイト URL <https://agriedu.jp/>

<参加費、交流会費>

参加費	一般会員：3,000 円	非会員：4,000 円	学生：1,000 円
-----	--------------	-------------	------------

交流会費	一般会員：5,000 円	非会員：6,000 円	学生：2,000 円
------	--------------	-------------	------------

■ 研究発表申し込みについて

具体的な申し込み方法は、学会の Web サイトに Forms を掲載し、6 月 15 日～7 月 17 日の期間で申し込み受付をする予定です。**(期限を延長し 8/3 までとしております。)**

※注意：登壇者は学会員である必要があります。未入会者が登壇者となった場合は、学会の Web サイトに掲載されている「入会申込書」を用いて入会してください。年会費の納入も併せて必要となります。

■ 研究発表要旨原稿の様式および送付先について

【発表要旨原稿の様式】

要旨集は、発表者から送られてきた原稿をそのまま印刷・製本します。

要旨原稿の様式を統一しますので、発表される方は、学会の Web サイトよりダウンロードして要旨原稿を作成してください。また、様式の説明が赤字で書かれていますので、この様式にしたがってください。

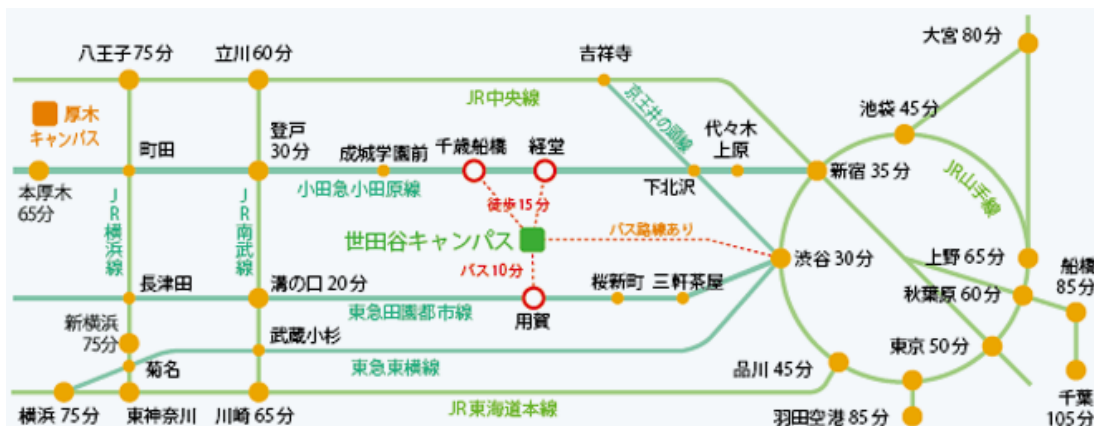
【発表要旨原稿の送付先】

原稿は、PDF ファイルに変換して、E メールで大会実行委員会連絡先宛てにお送りください。Eメールの件名（タイトル）は【日本農業教育学会大会発表要旨（〇〇〇〇）】として、〇〇には発表者氏名をご記入ください。

送付期間は 6 月 15 日～~~7 月 17 日~~**8 月 3 日**です。印刷の日程に余裕がありませんので、締切厳守をお願いします。 大会実行委員会連絡先：mj204347@nodai.ac.jp （實野 雅太）

■ 交通案内

東京農業大学世田谷キャンパスへは、小田急線の場合は経堂駅と千歳船橋駅から徒歩約 15 分、JR 線の場合は渋谷駅からバスで約 30 分（渋谷駅～農大前）、東急田園都市線の場合は用賀駅からバスで約 10 分程度です。



■ 宿泊について

東京農業大学世田谷キャンパス周辺（経堂・桜新町等）は宿泊施設に限られております。
渋谷・新宿・三軒茶屋・二子玉川周辺のホテルも含め、早めの宿泊手配を推奨いたします。

■ 研究発表会（口頭発表・ポスター発表）

[9月13日(日)] 開場 8時40分～

研究発表会 1 9:00～11:20 農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂（発表12分、質疑応答3分）

9:00～9:30 座長： 勝川 健三 先生（弘前大学）

1) トラデスカンチアの挿し木に及ぼす光環境の影響と教材としての有用性

○箕作 和彦，渡邊 充基
奈良教育大学

2) マンデビラの花の品質保持について ―生物育成の教材として―

○小池 安比古¹，猪俣 晶子¹，實野 雅太
東京農業大学農学部¹，東京農業大学教職課程

9:30～10:00 座長： 森 太郎 先生（滋賀大学）

1) 刈取再生栽培における刈り取り位置および施肥条件の違いがリーフレタスの収量に及ぼす影響

○鎌田 英一郎¹，松井 壮吾²
長崎大学¹，真津山小学校²

- 2) フレンチタラゴンの液体培養における培養部位、ショ糖及びインドール酢酸が不定根形成と茎葉生長に及ぼす影響

○摺崎 宏

大分短期大学

10：00～10：45 座長： 辻 耕治 先生（千葉大学）

- 1) 学校で実施可能な哺乳類との関わりを取り入れた生活科飼育学習プログラムの検討

○秦 陽乃¹，寺田 実²，近棟 稔哉³，竹村 裕子³，森 太郎¹

滋賀大学大学院教育学研究科¹，滋賀大学教育学部附属小学校²，滋賀県獣医師会³

- 2) 生きた文化財「真澄の白たんぽぽ」の生息域外保全と教材化に関する実践研究 小学校低学年児童における栽培観察記録の分析

○勝川 健三¹，北畠 清美²

弘前大学¹，シロバナの再考（シロバナタンポポ保全活動団体）²

- 3) 農学知識の生産構造に関する予備的検討 —『盆栽学雑誌』掲載記事の計量書誌学的分析から—

○横山 詢

東京大学大学院学際情報学府

10：45～11：15 座長： 鎌田 英一郎 先生（長崎大学）

- 1) 小学校における教科等横断的な稲作学習プログラムの開発 —高温耐性品種を活用した地球温暖化対策の学習—

○森 太郎¹，村井 日和¹，野間 隆秀²，山本 幸穂²，谷口 光²，荻野 祐浩²，山際 真知子²，
山本 はるか¹

滋賀大学教育学部¹，滋賀大学教育学部附属小学校²

- 2) 肥料の種類と堆肥がイネの成長と生物多様性・食害に及ぼす影響の教材化

齋藤 駿典¹，○藤井 道彦¹

静岡大学教育学部¹

11：30～12：00 ポスター発表（農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂前広場）

- P-1) ツユクサ科2種を用いた花粉管観察の再現性向上と稔性評価

○中村 元香¹

玉川大学¹

P-2) 光の色によるチンゲンサイへの害虫による食害抑制効果と生育への影響の教材開発の試み

○小泉快帆¹, 藤井 道彦¹

静岡大学教育学部¹

P-3) 沖縄県宮古島市こども園で植物遺伝資源の利活用を考える - カンショ・島ナス・ダイズ・コムギ・キビを活用した取り組み事例 -

友利宏美¹, 吉村 真衣子^{2,3}, 名嘉真由記^{3,4}, ○玉木 陸斗^{3,5}

社福) むすびの会心愛こども園¹, 東京農業大学宮古亜熱帯農場², SlowFood®Ryukyus³, 沖縄在来研究所⁴, 東京農業大学農学部農学科⁵

P-4) 雑草を利用した農薬の開発に向けて

○渡川 美咲¹, 竹志 幸洋¹, 西藤 真一¹, 堀内 敬士¹

広島県立西条農業高等学校¹

P-5) バチルス菌を用いた新しい土壌改良材の開発

竹志幸洋, 大野佑二郎, 荒谷琥太郎, 高升理瑛, 野村果恋, ○大城戸楓

広島県立西条農業高等学校

P-6) 農業高校における科学技術リテラシー等の育成を図るカリキュラム開発について SSH 事業の枠組みを活かして

○竹志 幸洋¹, 中田 健司¹, 西田 峻祐¹

広島県立西条農業高等学校¹

P-7) 東京都心部女子大学生における農業イメージと職業選択意識に関する調査

○氷見英子

大妻女子大学社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻

P-8) 樹木の立面図を対象とした製図能力の育成および図面評価に向けた検討

○井澤 悠午¹, 赤井 淳嗣²

京都府立農芸高等学校¹, 京都教育大学²

研究発表会 2 14:10～16:40 農大アカデミアセンター地下1階 横井講堂 (発表12分、質疑
応答3分)

14:10～14:40 座長: 町田 怜子 先生 (東京農業大学)

- 1) 小中学校で実践可能なプラスチック製コンポスターを用いた生ごみのコンポスト化 - 栽培学習教材の開発

○浅野 陽樹¹, 平井 英明², 赤羽 幾子³

鹿児島大学教育学部¹, 滋賀大学研究推進機構², 農研機構農業環境研究部門³

- 2) 地域資源を題材にした生物育成の技術の授業実践 とう菜栽培の試み

○山崎 恭平¹, 水野 頌之助²

上越教育大学¹, 妙高高原中学校²

14:40～15:10 座長: 松山 明彦 先生 (東京農業大学)

- 1) 特別支援学校における農業の特色を活かした地域交流の取り組み

○谷川 毅

兵庫県立北はりま特別支援学校

- 2) 知的障がい者を対象とした農的活動等を組合せた学習の継続的改善と効果検証

○前川 哲弥^{1,2,3}, 外山 純^{3,4}, 天田 武志^{3,5}, 竹下 晶子⁴, 前川 由美^{1,2}, 豊田 正博⁶, 藤川 智紀¹, 町田 怜子¹

東京農業大学¹, 株式会社夢育て², NPO 法人ユメソダテ³, よむかくはじく⁴, ラーニングクエスト⁵, 兵庫県立大学⁶

15:10～15:40 座長: 山崎 恭平 先生 (上越教育大学)

- 1) 農業科教育法におけるスマート農業の試み ドローン操作を通じた学生の意識の変化

○松山 明彦

東京農業大学生物産業学部

- 2) AI 診断アプリレイミーを活用した農業実習教材の開発 一圃場記録のデジタル化を通してー

○安部 由香子¹, 篠原 弘亮¹, 竹志 幸洋², 青島正昂³, 畑本 梨衣³, 谷口 健太郎³

東京農業大学¹, 広島県立西条農業高等学校², 日本農薬(株)³

15：40～16：10 座長： 水野 真二 先生（日本大学）

1) 農学系専攻学生が第一次産業関連職に就くまでのプロセス

○伊藤 遼太郎^{1・2}，杉本 英晴³

札幌医科大学¹，関西大学大学院²，関西大学³

2) 生物多様性を DNA の観点から学ぶ授業のインドネシアでの実践 ―日本と ASEAN 協働の科学教育プログラムの活用―

○庄司雄哉¹，辻耕治²

千葉大学大学院教育学研究科¹，千葉大学大学院教育学研究院²

16：10～16：40 座長： 齋藤 修平 先生（東京農業大学）

1) 学校におけるアイガモ農法の新たな可能性 ～アイガモとタロイモの同時作の検討～

○平尾 健二¹，田村 真鈴²，坂本 朱理²，萩原 颯大²，山崎 史豊²，中嶋 凜²

¹福岡教育大学，²福岡教育大学元学生

2) 沖縄県宮古諸島における伝統的農産物の定義 ―ンキーンヌ ミャークヌ スゥーの試案―

○玉木陸斗^{1,2}，吉村真衣子^{2,3}，友利宏美⁴，遠藤千晴⁵，平良舟江⁶，杉原たまえ⁷

東京農業大学農学部農学科¹，SlowFood®Ryukyus²，東京農業大学宮古亜熱帯農場³，社福）むすびの会心愛こども園⁴，HAPPY CREATE CHIHARU⁵，沖縄県立宮古総合実業高等学校⁶，東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科⁷